

タマリハ中村先生に聞く!

タマリハ新聞

第7号
発行所
多摩リハビリ
テーション学院

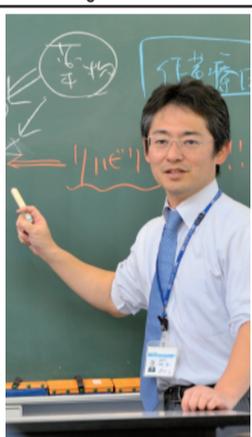
声なき声を聞くことも作業療法です!



「唯一の良心」その言葉に支えられ

大学では教育を学んでいましたが、ひよんなことから劇団の舞台を手伝うことになりました。劇の内容は、いわゆる依存症(薬物等)の方への治療・指導を目的としたものでした。この頃薬物依存というものは一般の人が罹るものではないという認識が強かったのですが、ごく一般の方が依存するということに強いインパクトを感じました。何かのきっかけで心が弱って、何かに頼りたくなる際に、やはり自分に合ったものを選ぶ傾向にあります。例えばお酒、ギャンブル、薬物など、その人が「合う」と思ったものに依存します。そういう精神・心に関わるものに強く興味を持ったことがOTへの道を進むきっかけになりました。この時劇団の手伝いに誘ってくれた先輩に出会っていなければ、全く別の方向に進んでいただと思いません。OTになって、まず精神科病院に勤めました。集団療法を行っていきまして、患者様が25名に対して1人のOTがいれば良いとされてきました。なかなか一人一人の個人と向き

合う時間がなく、その難しさも感じました。医師や看護師は患者様の「悪いところを治す」ことが目的ですが、OTは「患者様ご本人が望むことを支援する」ことが目的です。例えば、ある患者様は退院する際に、とても不安を感じていました。しかし「出来ないこと」「悪いところ」を見ると退院が難しく感じても、その人の健康的側面を見れば「これなら出来る」こと、「患者様の」良いところもたくさんある」ということを伝えられま



す。それが大きな安心に変わることもあります。また妄想の症状がある患者様と接する際に、スタッフは基本的に妄想には付き合わないのですが、妄想も実際にはその方のコンプレックスから来るものであったり、またはヘルプサインだったりします。極端に厳しいしつけや教えを受けるなど心に何かしらの傷を持っているケースが多くそれらを何で軽減するかを知ることが出来ることもあります。その為、妄想とわかっていてもあえてきちんと話を聞き、対応していただきました。そうしている内に、「あなたはこの病院の唯一の良心」と言

って頂けたことがあり、この言葉は今でも大きな自信になっています。

好きなこと、それはズバリ「子育て」です!とにかく楽しいし、毎日がとても充実しています。家事は基本的に何でもこなしますが、子どものために何かすることが嬉しいので苦になりません。仕事が終わって帰宅後、実際にはぐったりしていることが多いのですが、それでも子供たちの笑顔に救われて頑張れるのです。経験としてはギターやベース、バイクなど色々あるのですが、どれも夢中になるほどではなく、そういう意味では「無趣味」なのだと思

います。子どもに影響を受けて今は、休日に恐竜ライブや科学博物館と一緒に行くのが楽しみなイクメンです!

「OT諸君、職人であれ!」

いつもニコニコと非常に低姿勢で優しい中村先生。自虐的なジョークで周囲を明るく笑わせたりスベったりいえ、ユーモアたっぷりな先生です。授業でも「これほどまでにOTが好きなんだ!」と情熱的に語るほど、作業療法を愛している方でもあります。勉強も大事だけど、学生には「OTとして職人になれ!」と言っているんです。とのこと。臨床での経験が豊富な中村先生ならではのアドバイスではないでしょう



中村先生ってこんな人

「これからOTを目指す皆さんへ」

もちろん勉強も大切だけど、現場で経験することはスキルも上がるし、とても重要なことです。またよく「若いうちは買っても苦勞しなさい」なんて言われるけど、自ら買わなくても苦勞します(笑)。だから苦勞なんか買わなくて良いんです。それよりも人生を豊かにするための楽しみを増やすこと。たとえ苦勞なことでも、目標の基準を下げてみれば、何事にも興味を持って取り組んでみてください。

勤務していた精神科病院が新規に開院することになった時のことです。当然のように近隣から強い反対と苦情を受けました。「もし精神障がい者が事件を起こしたらどうするんだ」「学校のプールを覗くなどの被害があったら、どう責任を取るんだ」と住民や小学校などから猛反発をされ、スタッフに通学の見守りをしてほしいとの要望まで出されました。要望通り交代で毎日見守りに立ちました。要望通り交代で毎日見守りに立ちました。幸いにも何も起こらず時は過ぎていきました。そんな中、近隣の方に向けて「どんな施設で、どんな人たちがいるのかを見てもらい、安心してもらう」という目的でイベント、お祭りを随時行いました。時間はかかりましたが徐々に理解を得られるようになった地域からの協力までして頂けることになった時にはとても感動しました。

理解を得ることの難しさに直面

多摩リハビリテーション学院専門学校
 作業療法学科・理学療法学科 (高卒3年課程) 言語聴覚学科 (大卒2年課程)
 〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布 1-642-1 TEL. (0428)-21-2001 FAX. (0428)-21-2410 JR東青梅駅から徒歩10分